

## (資料)

歯学部初年次教育を効果的にするための事前学習  
(入学前教育の方法)

出野 由紀子, 林田 丞太, 栗本 勇輝

## 1 目的

神奈川歯科大学では、幅広い分野の学生に広く門戸を開くため、一般入学試験の受験科目を2科目とすることで対応している。そのため、新入生には理科系の科目を履修していない文科系の学生も相当数在籍している。本学では初年次教育の冒頭において、高校レベルの基礎知識を学ぶ講義を設けている。その後、大学での理科系講義が始まるが、入学以前に理科系科目を履修してきた学生とそうでない学生とでは学力に大きな差がある。そこで、今年度は従来の入学前教育とは異なり、文系科目で受験した学生用に理科科目に重点を置いたカリキュラムを設置したので、その結果を分析し、報告する。

## 1.1 シラバスの構成

神奈川歯科大学では、多くの大学で採用されている2学期制ではなく、7週を1つのステージとする5ステージ制の導入を行っている。少ない科目を集中的に学修し、着実に履修できるシラバスとなっている。各科目は7週程度で履修できるように計画され、7週目は科目(モジュール)試験と補完教育を行い、不得意技能をつくらない万全のサポートのステップアップで教育効果を高めている。課題としては、Mituhiro Morita (2020) が指摘する通り、「クォーター制はセメスター制より、扱う授業内容が縮小されがちである」(1)との批判があるので、その批判が5ステージ制でも当てはまるであろう。セメスター制と同等の分量を維持するた

めには、シラバスの充実と次年度への引継ぎが大切になってくるであろう。

## 1.1.1 評価

評価はアクティビティ・ユニット試験・モジュール試験の3つの尺度から総合して判断する。大学共通テストが求める学力の3要素—「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体的に学ぶ態度」—を評価することが大学教育の中でも必要であろう。中でも主体性を評価するための「多面的・総合的な評価」が「アクティビティ」に対応するが、この基準を更に明確にしなければならない。

## 1.1.2 到達目標(卒業時)

ディプロマポリシー(学位授与方針)

- ①社会人としての必要な知識, 教養, 誠実さを備え, 多様化する時代に対応できる能力を有する。
- 1) 幅広い知識と教養を得るための主体的学修を行う能力を有する。(知識)
  - 2) 人間関係を円滑に行うためのコミュニケーション能力を有する。(技能)
  - 3) 社会人としての倫理観と誠実さを有する。(態度)
- ②医療人としての(生命に対する畏敬の念を旨とし,) 豊かな愛の精神を備え, 問題発見と解決能力を有する。
- 1) 基礎医学と隣接医学に関する歯科医師として必要な知識を有する。(知識)
  - 2) 患者や医療スタッフと良好な情報共有を図るために

必要なコミュニケーション能力を有する。(技能)

3) 情報収集・分析力をもって医療に対する社会的ニーズを把握しようとする姿勢と他者(患者やスタッフ)を敬愛する態度を有する。(態度)

③ 歯科医師として必要な臨床歯学を体系的に理解し、高度な専門的学識を展開できる能力を有する。

1) 歯科保健医療に必要な専門的知識を有する。(知識)

2) 科学的根拠に基づいた歯科保健医療に必要な技術を有する。(技能)

3) 状況に応じて適切な対応が図れるプロフェッショナル意識を有する。(態度)

## 2. 方法

2021年度新入生の1stageから2stageにかけて行われる理科系科目において、初年次教育のための事前学修の導入が、学生の学力にどのような影響を与えたかについて調査した。また、事前学修の実施状況とアンケートを集計し、学生の大学での学びに対する意欲と、事前学修に対する意見、感想を収集した。

## 3 結果

大学が提供した事前学修を受講し、期限内に修了させた学生については、入学後の成績もおおむね良好であった。事前学修の内容についても、多くの受講した学生から、比較的高い評価が得られた。また、初年次教育に携わる教員の多くが、入学前から新入生に対して興味を持ち、入学後の学修指導に際し、非常に役立つものであった。一方で、受講していない学生や受講したが修了していない学生もみられたため、その点については、受講率を上げる工夫が必要である。

## 4 結論

新しい事前学修を導入した結果、学生からは比較的高い評価と学修効果が得られた。また、成績が振るわない学生の共有する特徴が明確となり、今後の学修指導に活かすことが可能と示唆された。

## 引用資料

Mituhiko Morita (2020). クォーター制導入の教養

教育英語科目への影響 The Impact on English Education of Adopting the Quarter System at Hiroshima University. 広島大学外国語教育研究センター (23), pp121-136. (引用は抄録より)

本資料は、日本リメディアル教育学会第16回全国大会: 愛媛大学 8月18日(水) の抄録に基づく。